

社説

社説を読み解く (中学校・国語)

()中学校()年()組
氏名()

消費税減税の是非が、夏の参院選の争点に浮上している。石破茂首相が減税を見送る方向で調整に入った一方、野党各党は公約に盛り込む見通しだ。終わりの見えない物価高の中、家計の負担を減らす政策への国民の期待は高い。幅広い人が恩恵を受ける消費税減税を行わないならば、ほかにどんな経済対策があるのか。一方、減税で社会保障の重要な財源にあく穴をどう埋めるか。各党の主張には重要な論点がある。

国民の暮らしを守ること、持続可能な社会保障制度を将来に引き継ぐことに軽重はない。各党は、政策の負の面も明確に示した上で、責任ある議論を進めなければならない。

消費税の税収は年金、介護、医療、子育て支援などに充てられている。2024年度は税収30兆円超が見込まれ、うち20兆円程度が使われる。残りは自治体の行政サービスに回される。

首相が見送りを決めたのは、これらに代わる新たな財源の確保が困難と判断したためだ。一貫して減税に否定的だった自民党の森山裕幹事長ら党幹部への配慮もあったとみられる。財政規律を重んじる「責任政党」としての姿勢を示したという点では理解できる。ただ参院選の目玉政策を求める自民党内には不満が根強い。連立を組む公明党も消費税減税を選択肢としており、足並みがそろっているとは言いがたい。今後の調整に手間取れば、首相の指導力に疑問符が付くのは間違いない。

立憲民主党は、1年間に限り食料品の消費税を0%とする案を打ち出した。来々4月に開始し、経済情勢によつて1回延長できる仕組みである。税収減は年約5兆円と見込まれる。当初財源を示していなかった野田佳彦代表は昨日、国の基金の取り崩しなどで捻出する考えを表明した。

日本維新の会は2年間の食料品税率

0%、国民民主党が時限的な一律5%への引き下げを主張。共産党やれいわ新選組も消費税減税や廃止を訴える。消費税の負担感が大きいとされる所得の低い人ほど減税の実感を受けやすく、実現すればメリットがある。日々の食料品の支払額が目に見えて下がるのは物価対策としても分かりやすい。問題は一度下げた税率を短期間で元に戻すのは政治的に容易でない点だ。期間延長を余儀なくされた場合、赤字国債に頼ることにならないか。借金が1300兆円を超す国の財政の健全化が遅ればツケは将来世代に回る。

財源不足で社会保障サービスが低下し、弱い立場の人にしわ寄せがいくのも避けねばならない。ただ、だからと言って消費税減税の議論を閉ざしてはいけない。自民が阻んできた法人税や金融所得課税の負担増とセットで税制のゆがみを是正し、社会保障費など歳出抑制に本腰を入れることが肝心だ。

2025・5・17(土)

各党は負の面も明確に

【問1】見出しの空欄には、参議院議員選挙の争点になると予想されることがが入ります。記事中に8文字で表現されている語句を見出し用に1文字削減し、7文字で答えましょう。

--	--	--	--	--	--	--

【問2】消費税の税収は、主にどのようなことに使われていますか。あてはまる項目を下から全て選びましょう。

防衛 年金 教育 子育て支援 農林水産業 医療 介護
()

【問3】国民が消費税減税を期待する理由としてあてはまらないものを次のア～ウから一つ選びましょう。()

ア.社会保障サービスが低下し、弱い立場の人にしわ寄せがいくのを避けることができるから。

イ.消費税の負担感が大きいとされる所得の低い人ほど減税の実感を受けやすいから。

ウ.消費税減税により食料品の支払額が目に見えて下がるのは、物価対策としてもわかりやすいから。

【問4】消費税減税を石破茂首相が見送っている(2025.5.17時点)のはなぜですか。その理由を記事中の語句を使って答えましょう。

()

【調べてみよう】消費税減税について、各政党がどのような政策を打ち出しているか調べてみよう。



2025年5月17日付5面

＊習っていない漢字とむずかしい言葉の解説 ＊

是非（ぜ・ひ）＝道理にかなうことと、かなわないこと。よしあしの判断。	延長(えん・ちょう)＝延ばすこと。基金(き・きん)＝ある活動のために積み立て
浮上（ふ・じょう）＝浮かび上がること。調整（ちょう・せい）＝物事を具合	ておく金。 取り崩（くず）す＝まとまっているものを少しずつ取ってなくす
よく整えること。 野党(や・とう)＝政党政治で政権にはいない在野の党。	こと、または建物などを壊したり、解体したりすること。
恩恵（おん・けい）＝めぐみやなさけ。経済対策（けい・ざい・たい・さく）＝	捻出（ねん・しゅつ）＝ひねり出すこと。 一律（いち・りつ）＝同じやり方や
景気や企業活動、家計などが改善、好転するような政策や手段のこと。	扱い方。 余儀（よ・ぎ）なくされる＝やむを得ずなされること。
社会保障（しゃ・かい・ほ・しょう）＝病気をしたり、仕事がなくなったりした	国債（こく・さい）＝国家が財政上の必要から国家の信用により設定する金銭上
ときに、国がその人たちの世話をすること。健康保険や雇用保険などの仕組みも	の債務。赤字国債とは、国の歳入が歳出に足りない場合に不足分を補う
その一つ。 財源（ざい・げん）＝財貨（ざい・か）を生み出すもと。支出する	ために発行される、特別の法律（特例公債法）に基づく国債のこと。
金の出どころ。 論点（ろん・てん）＝議論の中心となる問題点。	金融所得課税とは、株式や投資信託などの金融商品から得た所得にかかる税金。
軽重（けい・ちょう）＝軽いことと重いこと。税込＝（ぜい・しゅう）＝国や	是正（ぜ・せい）＝悪い点を改め、正すこと。抑制（よく・せい）＝抑えること。
地方公共団体の徴税による収入。一貫(いっ・かん)＝変わらない考えや方法で	歳出（さい・しゅつ）＝国や地方公共団体が1年間に使う金の合計。逆に入って
やり通すこと。 配慮（はい・りょ）＝気をつかうこと、心づかい。	くる分が歳入。 本腰（ほん・ごし）を入れる＝本気で取り組むようにする。
財政（ざい・せい）＝国または地方公共団体が存立を維持し活動するため必要な	肝心（かん・じん）＝一番大事な様子。大切。「かん」は肝臓のこと。「じん」は
収入を獲得し、管理・経営する一切の作用。団体や企業、家庭などの経済状態。	心臓（しん・ぞう）、または腎臓（じん・ぞう）のこと。
規律（き・りつ）＝行為の基準となるもの。秩序や決まり。規制すること。	
選択肢（せん・たく・し）＝選べるように用意された、いくつかの答え。	
足並（あし・な）みがそろう＝人馬の行列などの足どりのそろい具合。比喩的に	
多くの人の考えや行動のそろっている様子。言い難（いい・がた）い＝言うのが	
難しい、言いにくい。 疑問符（ぎ・もん・ふ）＝疑問を表す記号、記し。	